

第

1

章

調査の概要等

調査の概要

1 調査の目的

市民の健康状態や食習慣などについて尋ね、今後の健康づくり事業に役立てるとともに、平成 27 年度に予定している「(仮称) 富士見市健康増進計画」策定の作業に向けて、その基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の方法

- ・調査区域：市内全域
- ・調査対象：①市内在住の 18 歳以上の人 → 「成人・高齢者調査」
②市立中学校 2 年生の生徒 → 「中学生調査」
③市立小学校 5 年生の児童 → 「小学生調査」
④市内在住の 5 歳児（年長児）の保護者 → 「幼児保護者調査」
- ・実施方法：「成人・高齢者調査」・「幼児保護者調査」…郵送配付－郵送回収法
「中学生調査」・「小学生調査」…市立各小中学校（担任教諭）を通じて配付・回収
- ・抽出方法：無作為抽出（「成人・高齢者調査」・「幼児保護者調査」）
- ・対象者数：「成人・高齢者調査」… 1,600
「中学生調査」… 211
「小学生調査」… 340
「幼児保護者調査」… 400
- ・実施時期：平成 26 年 11 月下旬～12 月 12 日

3 回収結果

調査区分	回収数	有効回収数	有効回収数合計	有効回収率
①成人・高齢者調査	684	684	1,476	42.8%
②中学生調査	211	211		100.0%
③小学生調査	340	340		100.0%
④幼児保護者調査	241	241		60.3%

本書の見方

- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。

- 表・グラフ中、整数は回答者数（単位：人）を、小数第1位までの数値は百分率（単位：%）を、それぞれ表している。クロス集計の表では、各欄の上段の数字が回答者数、下段の数字が百分率を表している。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数（ n ）として、小数第2位を四捨五入して算出している。そのため、各選択肢の合計が100%にならない場合がある。
また、 n が100未満である場合には、説明文は百分率ではなく実数を用いて行っている。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。